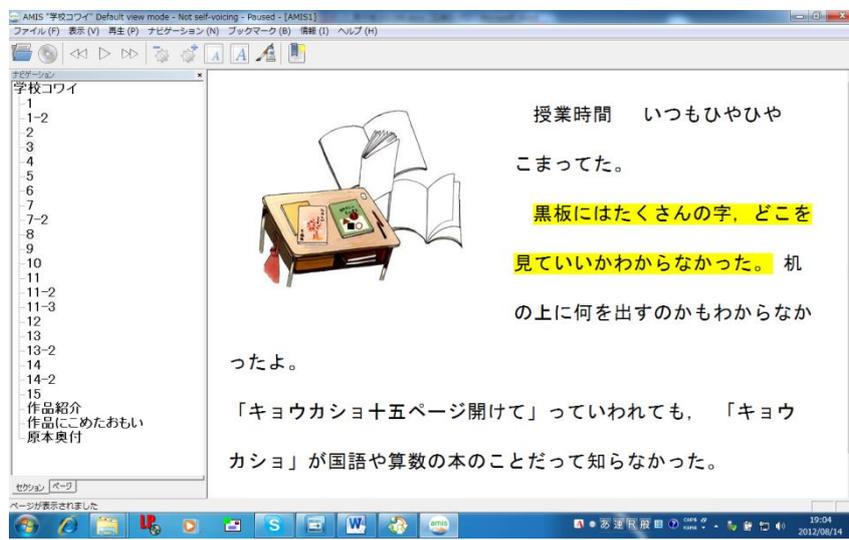


マルチメディアデザイン図書の特徴



『学校コワイ』より

- ① 文字・音声・画像が同期していて、多感覚で情報入力ができる。
- ② 音声で読み上げる部分の文字がハイライトする。
- ③ 読むスピードを変えることができる。
- ④ 文字の大きさを変えることができる。
- ⑤ 背景色や文字色を選択できる。
- ⑥ 章、節、ページ数などのナビゲーションで、読みたい箇所に移動できる。
- ⑦ センテンスごとやページごとに何度でも繰り返し見ることができる。
- ⑧ 漢字に振り仮名データがあれば、それを表示したり非表示にしたりできる。
- ⑨ 製作ソフトを購入すればだれでも製作に参加でき、オリジナルの図書を
作ったり録音をしたり、また、プリントやテストを先生自身がデザイン化す
ることもできる。

⑩ タッチパネル、ジョイスティック、ゲームのコントローラー、

ピンディスプレイなど、^{さまざま} ^{しゅうへん} ^{きき} ^{せつぞく} 様々な周辺機器を接続することができる。

⑪ データは^{ろくおんとしよ} 録音図書・^{かくだいとしよ} 拡大図書・^{てんじとしよ} 点字図書としても

^{りよう} 利用できる。



ipad 再生画面『LD・学び方が違う子ども
のためのサバイバルガイド』（明石書店）より